

Compass

vol.
788

 <http://www.nikkenkyo.com>

 nikkenkyo@nifty.com

1

2011
January

2011年 年頭所感

「当たり前」の日常」。見つめなおしてみませんか

日建協加盟組合 広報資料館

～ご紹介します！ みなさんの組合のポスターや広報物。～

ちょっとひといき。。。

アウトドアでコミュニケーション

Life & Money 講座

家計のムダを取り除く

秋の会社訪問を終えて

トピックス：

- ◆第4回『ワークライフ・バランス大賞』優秀賞！
- ◆丸彦渡辺建設職員組合のエコキャップ運動
- ◆女性技術者会議

土曜閉所運動 キャッチフレーズ大募集

加盟組合交流日誌8

◆日建協活動勉強会…間組職員労働組合

掴み取ろう希望を 動き出そう未来へ
続・東西組合細見 11 — 東鉄工業労働組合

クロスワードタイム 他

日建協

「当たり前」の日常」。見つめなおしてみませんか

日本建設産業職員労働組合協議会 議長 福島 玲司



加盟組合の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、各加盟組合の定期大会や日建協勉強会などの場、更には、業務多忙にもかかわらず、日建協が行っているさまざまなアンケートにおいて、真摯にかつ丁寧な、ご意見・ご要望を数多くいただき大変ありがとうございました。

その結果は、それぞれの企業にフィードバックを行っただけでなく、国土交通省や厚生労働省などへも提言し、建設産業の実態を伝える大変貴重な資料となりました。

本年も昨年同様に、日建協活動と一緒に参加していただきますようよろしくお願いいたします。

さて、昨年における建設産業の状況は、一部で改善の兆しは見え始めたものの、未だ回復の道筋が見えない、長く厳しい状態が続いております。また、国際社会における円高基調にも大きな回復は見られず、民間設備投資も国内から国外へと大きくシフトされ始め、国内における私たちの仕事の場は一段と少なくなり、過剰な競争が強られる産業構造が続いています。このような建設産業の状況は、働く者一人ひとりの負担を増幅させ、入職希望者を激減させてしまう“人に厳しく人材も不足する辛い産業”とも呼べるのではないのでしょうか。

そして私たちは、これからも今以上に少ない人数で、

かつ、個人の仕事量を増やし、身を削って働き続けなければ、賃金はもとより雇用の確保までもがままならないのでしょうか。

新年を迎えるにあたって、私を含めたこの産業で働く組合員の皆さま一人ひとりの「当たり前の日常」を考えることをお勧めしたいと思います。

通常働くということは、与えられた仕事をミスなくこなし、決められた時間の中で一定の成果を上げることが重要であり、その労働の対価として賃金を得ています。

私たち建設産業においては、ここにもう1つの要素が加わります。それは、請け負った期間と金額内で、どれだけ効率よく、どれだけ品質の良い商品を安全に提供できたかということにあります。しかも、条件が異なる環境下での一品生産において問われます。これは、肉体的にも精神的にも大きな労働負荷ではありますが、その反面、完成した時の満足感と喜びは強く感じることができます。これこそが、“建設業の魅力”であると思います。

しかし、問題はその生産過程において関わった労働者全員が、完成時の満足感を共有できていないことです。「現場」と言われる最前線の作業所チームの功績がそのほとんどに係るとしても、現場だけで成し得るものでもありません。営業が仕事を勝ち得て現場が造る。その生産の過程には、購買部門もあり、月次収支を管理する事務部門もなくてはならない重要な業務となります。

それぞれの部署で働く人たちは、1つの物件に対して、チームとしての意識と、完成し引き渡し後の喜びを現場と同じように感じなくてははいけません。それぞれがそれぞれの部門で、単なる日常業務としてこなしているだけの義務的な仕事と感じていては、辛いだけの仕事であって楽しい仕事にはならないのです。

今年は、是非とも、一人ひとりがこの“日常”を見直して欲しいと思います。見直した時の無駄や非効率な業務は、業務担当者の声として、自分の会社と組合に伝えていただきたい。それにより生まれた時間を、1つの製品を造り上げた喜びを感じるための時間と、自分のための時間に充てていただきたいと思います。確かに、チームの中に優秀な人材が1人居れば、ある程度の仕事はこなせるかもしれませんが、その人には必ず負荷が生まれます。その人個人としても、仕事に忠実で使命であると感じて一生懸命に働いているにもかかわらず、家族にとっては、大きな負荷であることを知る必要があります。ワーク・ライフ・バランスとは、家族も含めた自分に係るすべての人がバランスをとることで一層の効果を得的ものなのです。

もちろん組合員である皆さまの声は、自社の組合で解決できるものとそうでないものがありますが、解決できないからといって、声をあげても無駄というわけではありません。その声を私たち日建協は待っています。

是非とも、今年の抱負と目標を立てるにあたって、日記のように「今日の無駄(仕事・家庭)」 「今日の私の不満

(仕事・家庭)」を書き出してみてください。きっと、自分の働き方からさまざまなことが見えてくると思います。

私たち日建協は、昨年来「変わる意識と変える努力」を伝えてまいりました。加盟組合の中にも、「意識改革」というキーワードを盛り込んだ組合が多く存在します。それは、これからの建設産業が今までとは違う働き方をする必要があると感じているからです。当たり前の日常をもう一度見直し、自分の会社を働きやすい環境へと改善することが、楽しい建設産業へとシフトさせることへと繋がっていきます。それは、現在、その渦中にいる私たちの義務であり、権利でもあります。

私たち建設産業は、社会インフラを提供する重要な基幹産業であり、それを支えているのは組合員とその家族ですから、私たち個人とその家族が幸せでなければ、健全な社会インフラを提供し続けることはできません。2011年、新たな年を迎えるに当たり、もう一度自分を見つめ直すことによって組合員の皆さま個人とその家族、そして、更には、子供たちが遊び・学ぶ地域全体が、楽しく活気のあるものへと向かうように、35,000人の知恵と結束力で変えていきましょう。



日建協加盟組合 広報資料館

日建協加盟組合 広報資料館へようこそー

日建協では機関誌「Compass」や各種ポスター等の様々な広報資料を作成していますが、加盟組合にもポスターやカレンダー等の広報資料を作成しているところがたくさんあります。このページでは、普段、なかなか目にすることができない他の各加盟組合が独自に作成している広報資料を揃えてみました。デザインも工夫も実に様々。どうぞこれら広報資料から伝わる各加盟組合執行部の活動への熱い想いを感じ取ってください。

組合名：ハザマユニオン

内 容：2009年9月統一土曜閉所ポスター

ハザマユニオンで独自に展開している土曜閉所運動の教宣ポスターは解放感に溢れたGOODデザインです。「日建協のポスターとはちょっと



違った雰囲気にしようと思いました。メッセージを『閉所しよう!』という風にしなかったところは、作成者の好みですが、かえって組合員には好感を得られたようです。」とのコメントが寄せられました。キャッチコピーも好感が持てますよね。

組合名：ペンタユニオン

内 容：2009年2月統一土曜閉所ポスター

こちら、2月と9月に独自の土曜閉所運動を行うペンタユニオンの教宣ポスター。同ユニオンでは、会社側と組合三役で構成される時短ワー



キンググループがあり、ポスターの標語は、ワーキングメンバーが考えたものを毎回投票で決定しているそうです。みんなで力を合わせて休もうという気持ちが簡潔な言葉で表現されたキャッチコピーだと思います。また、ポスターのデザインや綺麗な色使いも暖かい気持ちにさせてくれます。

組合名：名工建設職員組合

内 容：声かけ運動広報ポスター、シール



▲ 新デザインのシールと実際に貼った様子

左のポスターは、名工職組が取り組んでいる『声かけ運動』の広報用ポスターです。名工職組では、これまでも安全の面から「〇×さん、危ないですよ」と、名前を呼んで注意しあう『声かけ運動』（Compass vol.779 続・東西組合細見③）をご参照くださいを展開していましたが、今年度からは、これまでの“安全”のみを目的とした声かけ運動から、声をかけることにより周りの仲間の健康状態（特に心・精神）にも気を配ろうという趣旨にバージョンアップしたとのこと。それに合わせヘルメットに貼るシールのデザインも一新されました。新しいデザインも、同じ職場の人間同士のきずなを大切にする名工職組の気持ちが表れています。

組合名：横河工事労働組合

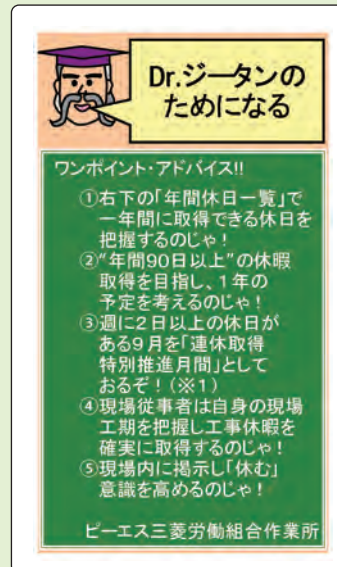
内 容：時短推進、土曜閉所広報ポスター他



横河労組では組合員から絵を募集し、ポスターやクオカードのデザインにしています。上のポスターの絵のうち、3点は組合員の方の奥様が描いていらつやいます。

組合名：ピーエス三菱労働組合

内 容：年間休暇カレンダー



ピーエス三菱労組のカレンダーは、日にちのみの記載だけでなく、休むための意識付けとして『年間休暇一覧』と『Dr.ジータンのためになるワンポイント・アドバイス』を載せている点がキモ。これも意識面で休暇取得を後押しするための工夫ですよ。ちなみにDr.ジータンとカレンダー中央のキャラクターは、同労組のオリジナルだそうです。親しみやすいイラストのキャラクターを作ってもらったこともまた工夫されている点の一つです。



組合名：大鉄工業労働組合

内 容：時短推進啓発ポスター



こちらは大鉄労組が時短推進の意識高揚のために作成したポスターです。「毎週水曜日は『定時退社の日』と定め、毎年会社側と共にポスターを作成して推進しています。ポスターの『〇曜日』の〇は、作業所等で水曜に定時退社できない場合に対応しています。」とのこと、「キャッチコピーに合わせたデザインづくりが大変!」というコメントを寄せていただきましたが、非常に分かりやすいデザインだと思います。シンプル イズ ベストです。

組合名：馬淵建設職員組合

内 容：組合広報紙



組合発信資料の定番と言えば、やはり広報紙。左は今年6月に創刊したばかりという馬淵職組の『MCU通信』。「少しでも組合活動を身近に感じてもらえれば」と思い、極力写真で視覚的にアピールするとともに、親近感や楽しい雰囲気ができるようにコメントも工夫しています。」という発刊の意気込みが寄せられました。

いかがでしたでしょうか？

こうしてポスターやカレンダーのデザイン、キャッチコピー等々に様々な工夫を凝らしている各加盟組合の広報資料や取り組みを見てみると、組合員の方に、組合活動を理解し、参加してもらいたいという執行部の方々の強い想いが伝わってきます。誌面の都合で紹介できなかった広報資料もまだまだたくさんあります。

日建協HP WEB版Compassで紹介しておりますので、そちらも、ぜひ、ご覧ください。最後に、組合内資料を快く提供していただいた加盟組合執行部の皆さん、どうもありがとうございました!



▲ 時短アイデア大賞優秀賞 私の休日宣言用紙せん紙(名工職組)

ちょっとひといき... アウトドアでコミュニケーション

原木 祐幸



みなさん、最近家族とのコミュニケーションはとれていますか？ また、自分の気分転換に何をしていますか？ わたしにとっての気分転換は、アウトドアを楽しむことです。アウトドアといってもキャンプや登山のような本格的なもののばかりではありません。自然の中で楽しめる遊び方を自分で組み合わせることにより、手軽な楽しみ方があります。

最初から意気込んで本格的なアウトドアに挑戦するのではなく、自然の中に飛び込んで体験しながら自分の楽しみ方を見つけてみるのもよいのではないのでしょうか？

手軽に楽しめるアウトドア

●ハイキング

年齢、性別を問わず誰でも手軽にアウトドアを満喫できるのが、ハイキングです。家でおにぎりとお茶を用意して、新緑に包まれた自然の中へ、また、紅葉に染まった美しい自然を見に出かけませんか。

ハイキングは、自宅の近くを散歩する感覚でも楽しめます。川沿いの土手をゆっくり散歩するのもよいですし、いつも車で通り過ぎていた街を散歩するのもよいかもしれません。旅行のついでに自然を満喫するのもよいでしょう。ハイキングは散歩の延長と考えれば、もっと気軽に楽しめるのではないのでしょうか。

●サイクリング

自転車に乗って行動範囲を広げること、アウトドアをより楽しむことができます。サイクリング専用の自転車は必要ありません。ママチャリでも十分楽しめます。自宅から自転車で出かけるのもよいですし、車に積み込んでロケーションのよいところで楽しむのもよいでしょう。また、旅行先でレンタサイクルを使って観光するのもよいかもしれません。

●ゴルフ

たまには無邪気に小さいボールを相手に、自然の中で戯れるのもよいかもしれません。スコアなんか気にせず広大な緑の芝の上で小さいボールを相手に悪戦苦闘し、疲労困憊、自己嫌悪に陥りながら楽しい時間を、仲間たちと過ごしましょう。



●その他

- 満腹になるまで食べてみたいぶどう狩りやみかん狩り
- 焼き鳥が食べにくくなるバードウォッチング
- できれば好みの異性と2人で行きたいドライブや旅行
- 人目を気にせず昼間から飲んで騒げる花見や紅葉見物
- わたしにはできないジョギング、マラソン
- 波と戯れるサーフィンやボディボード
- 男性同士では絵にならないスケート、スキー

組み合わせでコミュニケーション！

ハイキングや花見、サイクリングやみかん狩りなどを組み合わせると楽しい仲間たちとアウトドアを楽しんでみませんか？

わたしにとってのコミュニケーションは、家族や仲間とキャンプに行くことです。ゆっくりとした時間の中で、自然とふれあい、生まれてくる様々な絆や心のつながりを大切にしたいと考えています。

アウトドアを始めたきっかけ

わたしも小さなころ、親にキャンプに連れて行ってもらい、とても楽しかった思い出があります。現在は結婚して2人の子供がいますので、子供達にもこの楽しさをあじわってもらおうと、10年前から年に2～3回キャンプに行っています。子供たちもキャンプが大好きで冬以外はキャンプに行きたいとせがまれます。

キャンプやアウトドアの楽しみはなんと言っても自然と戯れることです。自然の中でゆったり過ごしたり、川で泳いだり、昆虫採集をしたり、マキ拾いをしたり、自然の中を探検したり、釣りをしたりと楽しもうと思えばきりがありません。

楽しそうな子供たち



親子でいっしょに“わが家”作り

テントやタープをどのようにレイアウトするかを決めたら、いよいよ設営開始です。今のテントはほとんどがドーム型で設営がとても簡単です。部屋の部分となるインナーを広げて天井部のスリーブにポールを通し、ポールの片側を固定。後は家族みんなでポールを湾曲させて持ち上げて反対側のポールの先を固定するだけで完了。子供たちと一緒に細かい部分をセットして位置決めしたら、ペグを打てばOK。雨や風を防ぐフライシートは風上に向かって風をはらませながら被せると楽にセットできます。家族みんなで協力することで今では15分もあれば“わが家”のできあがりです。



“わが家”

外で食べる食事はおいしい？

テントや川原で元気いっぱいしゃぎまわっていた子供たちも「ご飯まだー」と腹ペコ、ガス欠状態で戻ってきます。アウトドアでは不思議なことに家庭では料理しない父親に限って、張り切って料理します。炭に火をつけるのも着火剤で簡単に火はつきますし、家庭のコンロと同じように扱いやすいガスツーパーナーがあるので、バーベキューやご飯、焼肉や焼き鳥なども簡単にできます。多少失敗しても野外での食事は「すごくおいしいよ！」と食べてくれる子供の笑顔と、この一言があるからこそ、楽しくてやめられません。



手軽なガスツーパーナー

心も体も温まる焚き火の炎

季節を問わず、夜になると冷え込んでくるキャンプ場では、焚き火が欠かせません。ただ暖を取るためではなく、キャンプをしている実感を得るにも絶好のイベントで、とても心が和む雰囲気になります。

ちなみにこのキャンプ場は数少ない直火での焚き火ができるキャンプ場です。



至福の時間を過ごしてみよう！

そもそも、アウトドアは現代生活の中で失われた不自由さを、「自然」の中で経験して楽しむことです。

旅行する時には、たいていホテルや旅館に泊まります。快適な部屋で、豪華な美味しい料理に舌鼓をうつのも楽しいものです。しかし、あまり快適とはいえないテントに泊まって自然と一体になって過ごす時間も素晴らしい思い出となります。

日常生活では味わえないランプや焚き火だけの質素で味わい深い食事、家庭では失敗した料理は到底食べられませんが、アウトドアなら不思議と美味しく食べられます。テレビやビデオがない空間での家族との自然な語り、頭上を見上げれば無数の星が宇宙の広大さやロマンを語りかけてくれ、すがすがしい空気に包まれてのさわやかな目覚めなど、貴重な体験が、何物にも代え難い思い出と家族のコミュニケーションを深めるものだと感じています。





税金のこと、保険やローンのこと、老後の生活資金のこと…、気になることはいろいろあるけれど、「何から手をつければいいのかわからない」という方も多いのでは。そこで今回の Life & Money 講座では、マネーに関する不安や疑問に人気 ファイナンシャルプランナーの真根井先生が、がっちり答えます。

家計のムダを取り除く

収入の伸びの鈍化が続き、家計に逼迫感を感じる人が多くなっています。実際に節約志向が高まっていますが、やみくもに生活を切り詰めては閉塞感が増すばかり。それぞれのマネープランに沿って、必要な節約をきちんと実行することが大切です。

さあ、新年を迎えたところで心機一転！ 家計を見直して生活にゆとりをつくりましょう。

まず、自分の現在地を知る

子育て、マイホーム、老後の資金…。将来のために今から少しずつでも貯蓄をしたいとは思っているのですが、実際何から手をつけたいのかわかりません。お金を貯めるにはどうしたらいいんでしょう？

仕事柄よくそういう質問を受けますが、お金を貯めるには「いつまでに」「何のために」「いくら必要か」という目標を設定することが大切です。まず、家中の通帳やキャッシュカードを集めて総資産がいくらあるかを把握し、自身の年齢や家族構成など現在地を踏まえて未来をイメージし、「いつ、何のために、いくら」というゴールを決めましょう(下図)。

ライフステージによって支出のバランスはこんなに変動するんですね。僕の場合はええっと、この辺ですね。そうするとさしあたり目標とするのは住宅購入資金だな。

目標が決まったら、次にどんなものにお金を使っているかを把握します。家計簿をつけるのがベストですが、レシートを取っておいて見直すだけでも、おおよそのお金の出入が把握できて消費行動の見直しができますよ。

なるほど。家計簿をつけるとなると面倒ですが、レシートを見直すだけならすぐにできますね。

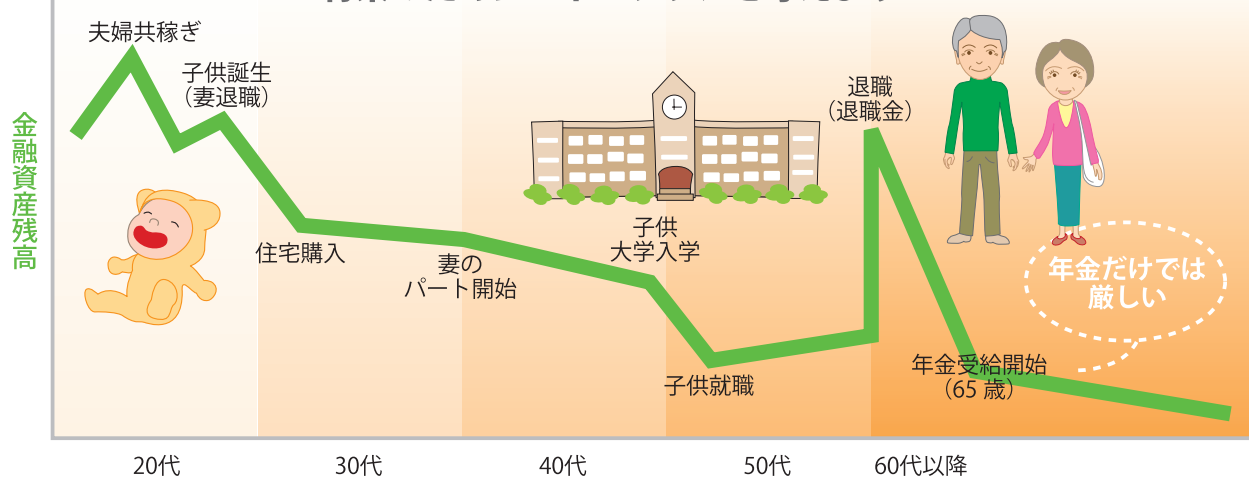
STEP 1 家計簿をつけ、使途不明金を洗い出す・・・
大まかでいいので、まずは3ヵ月。

STEP 2 予算費目を立てる・・・
固定費(毎月決まって出て行くお金)と変動費(月によって変動するお金)に分けて考える。

STEP 3 費目への予算の割り振りをする・・・
生活費の項目別に予算枠を設定する。

STEP 4 手取りに対する割合(%)を把握する・・・
それぞれの費目が全体の何%になるか確認しておく。

将来のためにマネープランを考えよう



家計の見直しは大きなお金から

現状がおおよそ把握できたら、いよいよ家計のムダを洗い出します。まず、毎月固定で支払っているため麻痺しがちな保険料、住宅ローンや家賃、車両関係費などから見直しましょう。その他のローンでも高い金利を払っていないか、余計な手数料を払っていないかも見逃せませんよ。

そうか。保険料って、いったん契約してしまうとなかなか見直さないから、そのままになってしまいがちですね。

STEP 1 保険や住宅ローンを見直す・・・
生命保険料：複数の保険に加入している場合は、その内容を一覧表にし、保険料を確認するとともに、保障内容にダブリがないかチェックする。年間保険料は、独身者で手取りの5%、世帯主は同じく10%くらいが目安。
住宅ローン：年間返済額が年収の何%に当たるか計算し、年収負担率が25%を超えている場合はローンの見直しを検討する。

STEP 2 契約プランや支払い方法を見直す・・・
携帯電話：次々に新しいプランが出るので、ショップやウェブ上で確認して、自分にとって一番お得なプランに変更する。
カード：あまり使わないクレジットカードは解約し、銀行の時間外引き出しの手数料や金利の高いリボ払いにも注意。

《ネットバンクでの入出金手数料》

ネットバンク名	預け入れ手数料	引き出し手数料
住信SBIネット銀行	0円	0円(回数制限ある場合あり)
新生銀行	0円	0円
ジャパンネット銀行	5万円未満157円／5万円以上0円	0円(回数制限あり)
セブン銀行	0円	0円(19時～7時105円)

保険料や住宅ローンは見直しでグンと安くなる場合がありますよ。さらに、細かいムダの見直しをしていきましょう。たとえば、電気や水道の使い方、買い物の仕方など、日常の消費行動を見直して細やかな節約テクを取り入れましょう。

よし！ それならすぐにできますね。



どれも当たり前のことのようにですが、意識をして生活するかしないかで、将来的には大きな差が生じますよ。ご家族ともよく話し合い、優先順位を決めてできることから始めてみましょう。

STEP 3 生活費を見直す・・・
光熱費：電気代の節約には、こまめに電源を切るなどの使い方や、エコ家電や蛍光灯など機器の選び方も大切。契約アンペアも適切かどうかチェック。お風呂や調理は効率よく済ませる工夫を。

電気基本料金	待機電力ワースト 3
10A ……273円 20A ……546円 30A ……819円 40A ……1,092円	1位 ガス給湯器・ガス釜 (年間電気代 506円) 2位 ビデオデッキ (年間電気代 462円) 3位 HDD、DVDレコーダー、プレイヤー (年間電気代 308円)
年間節約料金	煮物に落としぶた → -2,757円 食器洗い機使用 → -10,038円 冷蔵庫を壁から離す → -4,010円 間を開けずに入浴 → -1,679円

さて、日建君。
このほかにはどんなものがあると思いますか？

そうだなあ、毎月決まって出ていくお金以外だと、突然に誘われた飲み会とかレジャーとかですかね。

そうね。レジャー費なども、よく調べればずいぶんお得になる情報がたくさんあるわね。

ぼくなんかは飲み会やレジャーなどの交際費が結構多いなあ。お得な情報をよく調べてみよう。

レジャー：金券やクーポン券を利用したり、無料・格安な公共の公園や博物館、工場見学などで楽しむ。格安で泊まるなら会社や組合の契約施設、市区町村の宿泊施設等を利用する。車は同じスタンドで給油して、提携クレジットカードの特典を活用したり、ETC割引の利用を。

ETC割引 (平成22年12月現在)

休日特別割引上限1,000円(軽・普通車限定)
平日昼間割引30% OFF(東京・大阪近郊以外)
深夜割引30%～50% OFF(午後8時～午前6時) など

なるほど。お金を貯めるのにいちばん難しいのは始めることかもしれませんね。「こんなことをしても…」と考えているより、今日できることから始めること！ですね。

秋の会社訪問を終えて

日建協では毎年2回、春季(4月～5月)と秋季(9月～10月)に加盟組合の所属企業を訪問し、日建協活動に対するご理解を求めるとともに、産業が抱える様々な問題について意見交換を実施しています。2010年度の秋季会社訪問では、日建協が行っている2つの提言を中心に、時短推進の取り組み等、意見交換を行ってきました。たくさんの貴重な意見の中から、その一部をご紹介します。

民間建築工事における適正工期を実現したいという日建協の思いに会社の反応は…

日建協は、組合員の長時間労働の現状をふまえ、4週8休を含む不稼働日を考慮した工期で受発注できるルールづくりにむけた提言活動を、厚生労働省・国土交通省・業界団体等の関係者に対して行っています。

長時間労働により、安全・品質に影響が出るのは受注者として大きなリスクになるので、適正工期で受発注できるようなルールづくりは必要だと思う。まずは職員の長時間労働に歯止めをかける取り組みを実施していきたい。 —取締役—

4週8休というよりも日曜日を休むのが精一杯である。病院の改修工事では日曜日にしか打ち合わせができない等、どうしようもない現場もある。現状では、全休ではなく、現場単位でのローテーションで休むしかない。 —建築事業部長—

顧客のニーズは100社100様。工場、住宅、商業施設等、どの業界も厳しい環境下で競争しているので、工期に関する要望も厳しい。しかし、中には当社が提案した工期で、プロジェクトが進められるケースもある。良い建物をつくるために、しっかり休めて隔々まで目配りできるように、このようなケースを地道に広げていきたいと思う。 —人事部長—

民間工事で4週8休というのは、20年前では思いつきもしない話であった。今回、日建協の資料を見るだけでも隔世の感がある。日建協には是非、今後もこの活動を続けて、声を出し続けて欲しい。 —人事部長—

受注者側で声を出していかなければならないと、業界団体も思っている。全体の動きから、このような機運が高まっていけば良いと思う。 —常務執行役員—



一企業が発注者にむけて意見発信することは現状では難しいという意見がほとんどでした。しかし、職員の健康や次世代のために、長時間労働を削減していくことは重要だという考えは、すべての会社に共通した意見でした。建設産業全体の課題として、労使一体となって取り組んでいかなければならないと改めて感じました。



これからの建設産業について会社側が思う事とは？

仕事に‘ワクワク感’が必要である。スカイツリーなど良いものもある。企業の枠を超えて、建設産業全体でアピールしていくことが必要であると思う。 —人事部長—

この産業の魅力を感じてもらわないと産業自体が衰退していく。時短をどう進めていくか各社とも悩みどころだと思う。時短が進まないと、良い人材が入職してこない原因にもなる。“ものづくり”の素晴らしさをアピールしていかなければ。 —代表取締役—



公共工事の無報酬業務※を解消して、労働時間を短縮したいという日建協の思いに会社側の反応は…

日建協は、公共工事において組合員の長時間労働の要因の一つとなっている「無報酬業務」を解消するため、国土交通省がうちだしている「設計変更ガイドライン」や「ワンデーレスポンス」等の施策を積極的に活用できるように地方整備局に対して要請しています。 (※)無報酬業務… 設計変更書類など本来は発注者が行う業務にもかかわらず、適切な対価を得ずに受注者が行っている業務。

設計変更ガイドラインの制度は良いものであると思う。活用していかなければならない。また我々受注者も勉強しなければいけない。 —土木事業本部長—

国土交通省以外の工事でも職員は大変苦勞している。国土交通省を突破口として他の発注者にも日建協の取り組みを広げてもらいたい。 —人事部長—

地方整備局の本局の人は施策について理解していると思うが、実際に地方整備局の工事事務所を含め現場で行われていることは距離を感じる。各工事事務所には施策を徹底してもらいたい。 —土木部長—

受注者に対する行政の意識が高くなっていることは感じられる。しかし、受注者が地方整備局に声を上げることで不利益はないとは言うものの、工事評点に対する懸念はどうしても持ってしまう。 —常務取締役—

制度としては充実してきていると思う。しかし、各施策は形ばかりで実態が伴っていない。日建協から実際の現場の生の声をもっと発注者に対してぶつけて欲しい。 —専務執行役員—

今までは設計変更業務のような無報酬業務等を施工会社が行うのが当たり前という文化もあった。お互いそろそろ、責任区分を明確にしていかなければいけない。 —取締役—



設計変更ガイドラインやワンデーレスポンスなど制度としては充実してきたが、まだまだ現場まで浸透していないという意見が多数ありました。また、実際に活用すると受注者に不利益が生じる可能性を懸念した声も多く、まだまだ課題も多いのが現状です。日建協はこの課題の解決を目指して地方整備局にむけて意見発信を続けていきます。

統一土曜閉所や時短について一緒に取り組みましょう

意識の改革が必要である。残業することが美德で、休むことがサボるといった感覚が、日本人にはまだある。その考え方をまず変えないといけない。 —人事部長—

全産業的に3Kが重要だと言われている。「給料」「休暇」「勤務地」だ。休暇もそのうちの1つであり、休めない産業では魅力がない。大半の若い人の望みは「給料そこそこ、休暇が取れて、近所で暮らしたい」だ。しかし、現状の建設業ではこれは難しい。魅力アップのために会社も努力していく。 —専務執行役員—

課題は山積みだが、会社は何より人が財産である。リフレッシュする時間を上手く取って仕事に励んでもらい、生産性を向上して業績向上できればと思う。施主からの工期短縮の要望もあるが、社員の健康やモラルアップは何より大切である。時期的に取り組みにくいだろうが、改善を進めていきたい。色々と知恵をいただければ、と思う。 —代表取締役—



今回の会社訪問を通じて、会社側も日建協の提言に関して理解していることがわかりました。そして提言が実現することを組合員だけでなく、会社側も強く望んでいます。一企業だけでは解決できない建設産業の課題を日建協が取り組むことは、産業別組織として必要だと、強く感じてもらえました。会社訪問での意見交換をきっかけに、この提言活動が労使一体となり、産業を挙げての大きな流れになるよう継続して取り組んでいきます。



TOPICS

第4回『ワーク・ライフ・バランス大賞』優秀賞! ~日本生産性本部会長から表彰 労使協働による時短への取り組みに~

皆さん、おめでとうございます!
2010年11月、ワーク・ライフ・バランス・コンファレンス*1において第4回ワーク・ライフ・バランス大賞の「優秀賞」として表彰されました。「統一土曜閉所運動」などを進め、労使協働により建設業界の時短を推進している皆さんの取り組みが評価されたものです。

「大賞」は六花亭製菓グループ(北海道のお土産として『マルセイバターサンド』は有名ですね)で、職場や個人ごとの年間有給休暇取得計画を策定し、取得状況を毎月把握することにより、「100%の有給休暇取得」を実現されています。なんと、21年連続で継続中とのこと。休暇取得が当たり前になり、「休暇の質」向上、従業員の心身の健康維持の実現により、生産性が高まるとともに商品品質の安定が実現されるという成果もあがっているそうです。

従業員の能力、潜在力をいかに活用していくかは企業にとっても重要なことであり、その点でワーク・ライフ・バランスを進めるために、経営者の意識や取り組みが重要であると、主催者挨拶にもありました。私たち組合員も自分自身の意識を高めていくとともに、組合活動や仕事をつうじて企業に働きかけて、活力のある働きやすい職場、建設産業を実現していきましょう!



受賞者の皆さん(写真後列中央 日建協 福島議長)

※ワーク・ライフ・バランス・コンファレンス
ワーク・ライフ・バランス推進会議と日本生産性本部が主催するイベント。第3回大賞受賞企業による講演、第4回大賞の受賞者とパネリストによる事例紹介、交流会等が行われた。

ひとつの現場でも工夫と継続で大きな力を! ~丸彦渡辺建設職員組合のエコキャップ運動~

日建協では社会貢献活動として、『エコキャップ運動』に取り組んでいますが、先日、丸彦渡辺建設職員組合の作業所から、10万個を超えるキャップが日建協本部に届けられるというサプライズがありました。中心となって収集いただいた同職組(当時)の福井さんよりコメントしていただいているので、ここにご紹介します。

「昨年、Compassを通じて日建協のエコキャップ運動を知りましたが、集まっている数が少ないと感じ、それであれば『ひと現場でどれだけの個数が集められるかやってみよう!』と現場の仲間と呼びかけ、収集を始めました。

私は、組合の委員長も経験し、日建協の活動にも、ささやかではありますが参加もしてきました。小さな職組なので目立った事は何も出来ませんでしたが、工夫と継続が大きな力を持つ事を証明し、今後の組合活動に繋げていければと思いました。今春管理職となり組合を離れてしまいましたので、これが組合員として最後の奉仕となりましたが、この活動は組合・会社の枠を超えた活動になったと思います。うれしい誤算だったのは、近隣説明の際に、この活動の事を近所の方にアピールしたのですが、多くの近隣住民賛同者が現場事務所までエコキャップを持ってきてくださり、地域を挙げての活動になったということです。このことは当社が進める社会貢献活動の精神にも繋がる活動であり、地域住民との接点にもなりまし



日建協本部より回収業者へ
注: 現在、キャップの日建協本部への
直接送付は受け付けていません。



10万個超の思いやり



作業所で作った
広報紙
内容の詳細は
日建協HPまで!

丸彦渡辺建設(株)
福井さん

た。今は、ひと現場で始めた事が全社的に広がり、組合と会社の架け橋になればと考えています。

丸彦渡辺建設株式会社(仮称) 犬吠埼温泉スパ&リゾート新築工事作業所一同 & エコキャップ担当: 福井 章嗣

福井さん、工夫と継続が大きな力を持つこと、私たち日建協本部も確信しました。この度は運動にご協力いただき、どうもありがとうございました。



第4回「ワーク・ライフ・バランス大賞」 優秀賞 受賞活動

あなたの
キャッチ
フレーズから

土曜閉所の輪をひろげよう!

2011年6月11日・11月12日の 統一土曜閉所運動 キャッチフレーズ大募集!



建設産業で働いている
皆さんとご家族を対象に
多くの応募を
お待ちしております。

あなたのキャッチフレーズが 建設産業に広がります!!



建設産労懇との共同ポスターとして



厚生労働省などへの協力要請に

×切 1月21日(金) 必着



2010年の統一土曜閉所運動ポスター

日建協では、ひとりでも多くの人に「休むことの大切さ」と「心と体の休息日」を実感してもらい、時短意識高揚につなげてもらうことを目的に、年2回(6月・11月の第2土曜日)の統一土曜閉所運動に取り組んでいます。前回の11月の統一土曜閉所運動では初めて、内閣府政策統括官(共生社会政策担当)から後援を頂きました。今後も全加盟組合と建設産労懇、その他未加盟組合の仲間とともに、わたしたちのワーク・ライフ・バランスの実現をめざした活動を展開していきます。

【内 容】統一土曜閉所運動のキャッチフレーズ

【募集期間】2011年1月21日(金)必着

【応募方法】メール、FAX、はがきのいずれも可(未発表の作品に限る)

・e-mail yamada-jcu@nifty.com
(日建協 政策企画局 山田)
・FAX 03-5285-3879
・住所 〒169-0075
東京都新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3F
●住所、郵便番号、氏名、会社名の記載をお願いします。
※応募作品の著作権は日建協に帰属

【応募資格】建設産業で働いている方及びその家族

【審 査】(1次選考)日建協本部執行委員会にて10作品選考
(最終選考)日建協加盟組合の委員長、書記長による
全員投票

【入賞者の表彰】優秀賞(2点)2万円相当の商品券を贈呈
佳 作(2点)5千円相当の商品券を贈呈

【入賞者の発表】Compass 3月号(Vol.789)誌上を予定
(日建協HPにも掲載予定)

※応募に際しての個人情報、入賞者への
賞品発送以外には使用しません。

女性技術者会議 ～第1回 テーマ：女性の視点からみた働きやすい職場とは～2010年11月26日(金)

日建協は建設産業におけるワーク・ライフ・バランスの実現にむけて活動しています。男性も女性も、育児・介護などを含めた「ライフ」について考え、「ワーク」も見直す必要があります。そのためには、女性の視点が必要と考え、今年度14名の女性技術者を委員として招き、女性技術者会議を開催しました。

第1回目となる今回は、「女性の視点から見た働きやすい職場とは」をテーマに討議しました。会議の前半では、各委員から現状の働き方や課題について発言があり、後半では、3つのグループに分かれ、意見や課題解決のためのアイデアを出し合いました。

女性サイズの作業着の必要性など女性の視点からの提案や、ワーク・ライフ・バランスのためには、長時間労働の削減が必要だといった、建設産業が抱える問題に対する発言もあり、活発な意見交換となりました。

次回は、「誰もが働き続けられる建設産業とは」と題し、女性の視点からみた建設産業の未来などについて討議します。

今後の女性技術者会議の活動に乞うご期待!

2010年度 女性技術者会議委員(敬称略)

大澤 あや(大和小田急労組)、大島 香織(ペンタユニオン)、亀山 純代(フジタ職組)、佐々木 香織(大豊労組)、白石 寿子(飛鳥労組)、進 綾乃(シミズユニオン)、末安 綾香(ハザマユニオン)、富永 幸那(シミズユニオン)、中江 美紀(大鉄労組)、鳴海 良美(JSユニオン)、濱本 藍(大日本労組)、藤森 真美(三井住友社組)、松延 良枝(奥村職組)、森田 慧(戸田職組)
⇒各委員のコメントはCompass WEB版に掲載しています。各委員の熱い思いに触れてみてください!
日建協ホームページ: www.nikkenkyo.com



みんなで働きやすい建設産業をつくるぞ!
当日は、東洋大学の学生2名も参加されました



付せんを使って意見をまとめ、グループで発表



女性技術者会議の様子

加盟組合交流日誌

Exchange diary of affiliate unions

間組職員労働組合

日建協活動を身近に感じて欲しい

日建協活動勉強会

於:(株)間組本店会議室(2010.10.30)

ハザマユニオンの支部代表者会議に先立ち、日建協活動の勉強会が実施されました。ハザマユニオンから会議に集まった、20名の執行委員や支部代表者と、日建協本部からは3名が勉強会に参加しました。

今回の勉強会は、代表者が半数以上が新任であることから、日建協活動について幅広く理解をしてもらうことを目的に開催されました。産業政策活動では公共と民間工事の2つの提言について、加盟組合支援では時短推進や賃金交渉について説明を行いました。勉強会に参加した代表者からは「距離を感じていた日建協が身近に感じられるようになった」、「民間建築工事の提言は一社では出来ない活動なので継続した活動をお願いしたい」、「今日の勉強会の内容を支部の組合員に伝えたい」などの御意見をいただきました。その他にも数多くの質問や意見が寄せられ、支部代表者の方々の、日建協活動に対する期待の高さが感じられ、代表



勉強会の様子

勉強会に先立ち挨拶する
日暮中央執行委員長



者の方々はもとより日建協本部にとっても大変有意義な勉強会になりました。

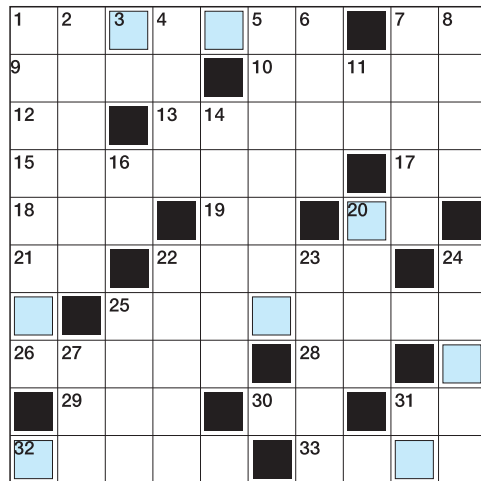
日建協では、このような勉強会を通して、日建協活動の紹介や、理解を深める活動を今後も展開していきます。

クロスワードタイム

明けましておめでとうございます。いよいよ地デジの年ですが、準備はお済みですか? Compassは今年も役立つ情報を皆さんにお届けします。二重枠の言葉を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合名、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■メ切:2月10日(木) ■宛先:〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3階 日建協クロスワード係(Mailはこちらへnikkenkyo@nifty.com)

ヒント:
2011年に関係がある事です。



ヨコのカギ

- お正月の食卓に欠かせないものです。
- 列車を停止し、旅客や荷物を取り扱うために設けられた場所。
- 春鳥、春告げ鳥と呼ばれ「ホーホケキョ」と鳴く鳥は?
- 旅行者や観光客を英語で言う?
- この魚のヒレは、中華料理などで高級食材として扱われています。
- スタジアムやコンサートホールの椅子にはコレがついています。
- 暖炉の焚き口の周辺部分。または暖炉の上部の飾り棚。
- ろ過するときに用いられる紙、あるいは紙状のもの。
- 宮崎アニメの代表作のひとつ。「となりの○○○」。
- この漢字「信天翁」何て読む?「○○うどり」。
- 回転するものの中心となる棒のことです。
- 漢詩に対して、上代から行われた日本固有の詩歌。
- 電気かみそりのこと。
- ネットワークを経由して、ほかのコンピュータにファイルを送信すること。または、アップロードともいいます。
- 路面に敷く、舗装用の煉瓦のこと。
- 静岡県にある温泉で有名なところ。
- 給排水、船舶の航行などのために、人工で作られた水路。
- 皮膚の汗腺から分泌される液。
- 四季の中で一番寒い季節。
- 裏手にある道路。
- 金で飾った宮殿、または非常に美しい御殿のこと。○○玉楼。

タテのカギ

- 「アンナとシャム王」のミュージカル・リメイクで、俳優ユル・プリンナーの代表な映画は?
- 何かを分割する行為のこと。
- テレビ朝日の散歩する番組で有名な俳優の苗字は?
- 体長約30cmの中南米の森林に集団で生息し、1958年に世界で初めて宇宙旅行をした霊長類。
- イギリスにある、魔女が石にされ封印されたと言われている洞窟がある村。数百年前から魔女伝説があり、年間約25万人が訪れる観光スポット。
- イギリスの作家アイアン・ランキン原作のスコットランドのエジンバラ市を舞台にした海外TVドラマシリーズ「○○○○警部」。
- 絵の入った、今日普通にいうすぐろのこと。
- 神仏に祈る神官・僧侶などをさします。
- 非金属材料の一つで、元素記号はP、原子番号は15の物質は?
- 白黒映画とは少し画質が異なる、茶色がかったような映画を俗に何という?
- マグロの肉の脂肪の多い部分。
- デニムを生地にしたパンツ(スポン)のこと。
- 心配そうな顔。または考え込んでいる顔つき。
- 表面に馬のひづめのような形のある蒼黒色の石。主に庭石などに使われます。
- 親の言いつけなどに素直に従う様子。
- 友だちを英語で言う?
- 板材で木の中心に近い側。
- 柄の先につけた毛に墨や絵の具を含ませて文字や絵をかく道具。

Vol.787クロスワード 正解と当選

答えは「ドクショノアキ(読書の秋)」でした。



多数のご応募ありがとうございます。次の方が当選されましたのでクオカードをお送りします。またのご応募をお待ちしています。

片岡奈津子(青木あすなろ) 溝口義弘(アサヌマ)
石橋崇司(奥村) 野村高史(鴻池) 森山章代(佐藤)
竹内 結・山岡亜美(銭高) 曾我歩加(大日本)
金井隆二・山崎明彦(大豊) 谷本順久(大和小田急)
鈴木秀幸・田中明子・西野修平(飛鳥)
椎名貴快・永瀬勝彦・最上泰輔(西松)
佐野健彦(国土) 福田浩司(野村)
越田允信・中村雄二・星 英明・渡部昭司(ハザマ)
峯 純子(ビーエス三菱) 中村真紀(フジタ)
市之瀬い子(ペンタ) 朝生純一(馬淵)
榎 恭子(三井住友) 新家絵美・濱野準也(横河) <敬称略>

もや 船い

国勢調査によると全国の共働き率は44.4%と約半数になっています。共働き家庭で避けて通れない話が家事の分担と子供の病気です。

ある調査によれば、日本では男女間の家事への考え方には大きな隔りがあります。女性は、家事は夫婦で分担するものだと考える一方、男性は、家事は妻へ協力するものだと考える人が多いそうです。この男性の考え方には、基本的には家事は女性の仕事という過去の慣習がいまだに残っており、またこの慣習を家事の回避する理由にしているからだそうです。男性は、家事へ協力するのではなく、家事を分担することがうまく共働きをする秘訣のようです。

もうひとつ、共働き家庭で一番の厄介なのが子供の病気です。子供が病気をすると、保育園では預かつ

てくれず、核家族の場合、夫か妻のどちらかが会社を休むことになります。1日だけならばまだしも、何日も続く大変なことになります。病児保育と言って、病気になった子供を預かってくれる施設もあるのですが、数も非常に少なく遠方であったり、また費用も高額です。共働きが進んでいる欧米などでは、病児保育が進んでいるのか、と思い調べてみたところ、病児保育というものはありませんでした。なぜかというと、母親であれ父親であれ子供が病気になったら簡単に会社を休むことが出来る風土があるからだそうです。

共働きがしやすい社会の実現には、制度や施設の充実ももちろん大切ですが、わたしたちの考え方そのものを変えていかなければならないですね。

(六三四)

編集後記

新年あけましておめでとうございます! 2011年最初のCompassはいかがでしたか? Compassでは読者のみなさんの意見を誌面に反映するために、各加盟組合からモニターを数名選出して頂いて、誌面やデザインについての感想や意見を頂いています。わたしたちは読んでもらえる誌面をめざし、作成・編集しています。モニターの意見は、わたしたちと読者をつなぐ「パイプ」です。もちろんモニターにならずともご意見やご感想などをお寄せいただく方の声も貴重であることは、言うまでもありません。今年もみなさんの声を反映させたCompassをお届けしていきます。どうぞよろしくお願いいたします!

掴み取ろう希望を 動き出そう未来へ

東鉄工業労働組合

東鉄工業株式会社は1943年(昭和18年)7月、鉄道の保持・強化を目的に、当時の鉄道省の要請により、国策会社「東京鐵道工業株式会社」として設立されました。1951年(昭和27年)7月に商号を現在の「東鉄工業株式会社」に変更、鉄道関連工事の専門技術をコアコンピタンスとした専門プロ集団として建設業界に独自の地歩を確保しながら現在に至っています。

また、同社はIR情報の開示にも注力しており、2010年11月に発表された証券会社によるHP充実度ランキングにおいて優秀サイトの評価を受けました。その評価は建設業のなかでも176社中2位と非常に高いものがあります。(HPアドレス:<http://www.totetsu.co.jp/>)

今回は同労組組合員より訪問リクエストが日建協に寄せられました。調べてみると、前回訪問が約10年前。さっそく東鉄工業労働組合へお邪魔してまいりました。



左から、山谷専門部長、村岡書記長、米川委員長、後藤副委員長

- 設 立：昭和22年5月5日 ● 支 部：11支部(本社・東京・建築・八王子・横浜・千葉・水戸・埼玉・高崎・東北・新潟)
- 組合員数：886名
(2010年11月1日現在) ● 本部執行委員数：23名
- 組 織 率：71.3%(9/30現在) ● 執行委員会：月1回

「今年から組合員の家族に対してインフルエンザ予防接種費用の補助を始めました。」

昨年より新型インフルエンザが猛威を振るっていますが、東鉄工業では福利厚生の一環として従業員に対して予防接種費用の補助(1,500円)を実施しています。そして組合では、組合員の家族に対して1,000円のインフルエンザ予防接種の費用補助を負担する取組を今年から始めました。

活動のきっかけとして、オルグで各支部を廻った際に組合員からの要望が多かったというのが一番ですが、いつも組合員を支えている家族の方々に何らかのアクションが起こせないか?という本部の強い想いもありました。

今回の予防接種の費用補助は「組合が何をしているのか?」、「どんな活動をしているのか?」を組合員とその家族の方に少しでも知って頂き、組合活動への関心を持ってもらうきっかけ作りとして良かったと思います。今後は継続して実施している配偶者健康診断補助の利用率アップ、そして新たな取り組みとして人間ドックの費用補助などを検討し、更なる活動に繋げたいと考えています。

「組合を仲間づくりの場として利用してもらいたい。」

毎年、新入組合員への教育として『組合ってなに?』という独自の冊子や、日建協のホームページに掲載されている「あなたが組合員でいる訳」を利用して、組合は『あんなこと』や『こんなこと』をやっているという話をしています。その中でも一番伝えたい事は、様々な活動を通して「仲間を増やすことの大切さ」であります。

以前であれば寮や大きな宿舎(飯場)があって、その集団生活の中で「仲間」というものが自然に形成できていましたが、最近ではそういった場が少なくなったと思います。仕事というのは組織で取り組むものであり、一人で出来る事は限られているのに、個人で問題や心配を抱えこみ、悩む事が多くなったのではないのでしょうか?

そのような孤立感や閉塞感を払拭する意味も含め、組合活動を仲間づくりの場として積極的に利用してもらいたいし、利用したくなるような工夫をしながら「仲間を増やすことの大切さ」を日々の活動を通して

知ってもらいたいです。

今期の組合では活動の輪を広げる一助として広報力を強化し、本部ニュースの発行をこまめに行い、組合の今の活動を若年層に少しでも興味を持ってもらえる様に、彼らの目に映る問題の解決や不満の解消を目指しています。

「ワーク・ライフ・バランスのために組合がすべきこと…」

ワーク・ライフ・バランスという言葉を目にする回数は増えていますが、当労組では決してメジャーな言葉であるとは言いきれません。バランス=時間配分というように短絡的に考えてはいませんが、やはり、ライフを充実するためにはある程度のプライベートな時間は必要だと思います。特に家庭をライフの大きな部分とすれば、昼に仕事を終え、夜に帰って家族と過ごすということが大切だと思います。しかし、鉄道工事という特殊性から私たちに夜勤という現実的な仕事があります。そして、その仕事に誇りを持って、一生懸命に取り組んでいる組合員がたくさんいます。その組合員に「ワーク・ライフ・バランス」を声高に叫んでも、無理な押しつけになってしまうのではないかと考えます。

「押しつけだからダメ」ということではありませんが、年齢や家庭状況によってバランスは変わってきます。自分の年齢や子供の年齢によってライフに比重が傾いた時や『休みを取って旅行をしたい』と思った時に、スムーズにライフを重視できるような働きやすい環境や制度を、労使ともに力を合わせて作っていくこそが組合の役目ではないかと考えます。私たちは建設産業において各企業独自の「ワーク・ライフ・バランス」という考えがあって良いと思います。



塩田財政部長



山谷専門部長

東鉄工業労働組合では毎年2月にスキー交流会を主催しており、参加者は200人を超えるそうです。特に若い組合員の方の参加を強く促すとのことで「そうやって半ば強制的に参加させられた若い人が、将来、部下を持てば『自分も若いころに行ったから行って来い』って言うてくれると思うんですね(笑)」という執行部からは、組合員の未来を見据えた前向きな取り組み姿勢が感じられました。「休むきっかけ、仕掛けをやっていければ」と語っていた執行部の皆さん、お忙しいなかで取材協力いただき、どうもありがとうございました。